

## 2022年度CVV総会資料

## ◇2021年度 活動報告

## 1. 総会の開催

2021年度総会をワークショップとともに5月下旬に開催すべく調整したが、コロナ禍のもと断念し、総会議事についてはメール審議とした。

## 2. 定例会の開催

概ね2か月ごとに定例会を開催し、活動方針や具体的な活動内容を協議している。なお、今年度も昨年度に続きコロナ禍のため開催頻度が減少し、4回の開催にとどまった。

## 3. 具体的な活動及び今後の活動に向けた調査、検討

今年度実施した事業内容、および今後の活動内容の拡大や充実に向け実施した各種団体への協議内容を列記する。

## ① 土木学会関西支部との協議

関西支部事務局と定期的に協議した。

## ② 学童保育への支援

過年度より検討している大阪市立東小橋小学校におけるいきいき活動への支援に関して、運営指導員の方々と協議を重ね、12月25日に生徒を対象にした橋の模型作りを実施した。

## ③ 神戸市「土木の学校」支援

過年度より支援している神戸市「土木の学校」の運営委員会に出席し、11月27日実施の橋梁模型コンテストに審査委員を派遣し、協力した。なお、神戸市が橋の模型コンテストの運営から撤退する方針のため、今後の取り扱いについて関係者で協議した。

## ④ 技術継承に向けた検討

CVVでの技術継承への取り組みを再検討するため数度会合を持った。また、会員の経験談等を取りまとめる活動を開始した。

## ⑤ 選奨土木遺産関西支部推薦委員会との協議

土木への関心を高めるため土木遺産を活用した市民向け見学会を検討している。そこで、この視点での造詣が深い選奨土木遺産関西支部推薦委員会岡田委員長とオンラインで懇談した。

## ⑥ 関西支部管内の土木遺産の調査等

2021年度は角倉了以にまつわる施設の見学会を実施し、会員の知識向上に努めた。また、選奨土木遺産である阪急大宮駅の建設記録映画の存在を知ったことからその活用策を検討するため映像の所有者と協議した。

## ⑦ 地盤工学会関西支部との連携

地盤工学会関西支部では次世代を担う若手会員の活性化交流を目的として若手セミナーを毎年開催しており、昨年度に引き続き今年度もCVVメンバーの中から発注者・設計者・施工者の異なる立場から講師として招かれ「私と地盤とのかかわり」を共通のテーマとしてオンラインでそれぞれの実務経験談を講演した。

## ◇2021年度 決算報告（監査報告を含む）：別紙参照

## ◇2022年度 役員案

代表：古田 均

監事：南荘 淳、齋木亮一

幹事長：川谷充郎

幹事（順不同）

会計：石原靖弘

名簿：夏秋義広

ホームページ：田中 洋、森 俊彦、祝 賢治、黒山泰弘

橋梁調査：野坂俊雄、武 伸明

土木遺産調査：南荘 淳、清水文夫、栗田秀明、今岡亮司

見学会企画：祝 賢治、先本 勉、宇野宏司

技術継承：吉岡正道、友廣康二、石原靖弘、夏秋義広、武 伸明

学童支援：鈴木 巖、石原靖弘、祝 賢治、井元 泉  
自治体支援：夏秋義広、黒山泰弘  
事務長：黒山泰弘

◇2022年度 事業計画案

1. 総会、定例会、ワークショップ等の開催
2. 「浪速の名橋50選」を活用した見学会、研修会の実施
3. 「大阪の橋 追補名橋」調査の継続実施
4. 土木学会関西支部管内の土木遺産の調査継続
5. 自治体支援等の継続的な実施
6. 技術継承に向けた取り組み（小中学校、大学・高専・高校、若手技術者）
7. 活動内容の充実に向けた他団体との交流促進ならびに活動広報
8. 土木学会全国大会への協力（映像資料展示等）
9. その他

◇2022年度 予算案

収入の部

項目	金額（円）	備考
前年度繰越	53,526	
会費	35,000	35人*1,000円
助成金	300,000	土木学会関西支部より
その他	10,000	会員からの寄付等
計	398,526	

支出の部

項目	金額（円）	備考
交通費	200,000	現地調査等
会場費	10,000	市民、学生見学会等
印刷費	100,000	資料印刷、冊子印刷製本等
賃貸料	16,000	サーバー、貸ロッカー利用料
食糧費	10,000	学生見学会での補助等
雑費	10,000	消耗品、支払手数料等
予備費	52,526	
計	398,526	